

「TRAKTOR」シリーズ接続ガイド

はじめに

DJミキサーとコンピュータをUSBケーブル1本で接続することで、「TRAKTOR」シリーズ※¹のデッキ（プレーヤー）のコントロールや、DJミキサーに内蔵されたUSBサウンドカードで音声を入出力するなど、「TRAKTOR」シリーズと組み合わせたさまざまなDJプレイをお楽しみいただけます。また、楽曲の録音、制作などにも対応しています。

さらにタイムコードディスク※²を準備することで、使い慣れたアナログプレーヤー（ターンテーブル）やDJプレーヤーでデジタル音楽ファイルを操作できるDVS（Digital Vinyl System）が利用可能になります。

本書では、DJミキサー/DJM-900NXS2で「TRAKTOR」シリーズのDVS機能を使用するためのシステム構築の手順を説明します。DJM-900NXS2以外のDJミキサーをご使用いただく場合も、基本的な設定方法は同じです。

※1 Native Instruments 社のDJソフトウェアです。

※2 DVS(Digital Vinyl System) の構成に必要なタイムコードが収録された特殊な CD/レコードです。

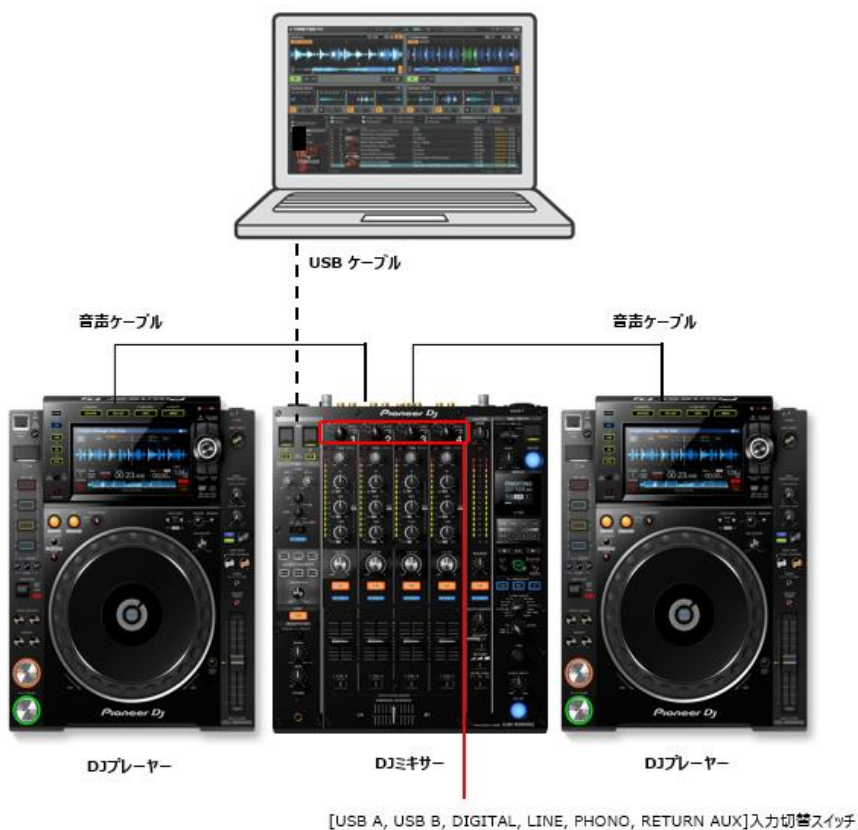
※ 「TRAKTOR」シリーズでDVSが利用可能になるDJミキサーは弊社サポートページ
(<http://www.pioneerdj.com/support/>)でご確認ください。

※ 「TRAKTOR」シリーズの操作方法など、詳しい内容については「TRAKTOR」シリーズの取扱説明書をご覧ください。

DJM-900NXS2は最大4台のDJプレーヤーまたはアナログプレーヤー、最大2台のコンピュータを接続できます。本書ではおもに、2台のDJプレーヤーをDJM-900NXS2のCH2, CH3に接続し、USB端子 Aに接続したコンピュータ上で動作する「TRAKTOR」シリーズのDeck A, Deck Bをコントロールする場合を例にして説明します。

機器の接続

- ・ DJM-900NXS2のCH2 LINE端子, CH3 LINE端子にDJプレーヤーを接続します。
- ・ DJM-900NXS2とUSB 端子 Aにコンピュータを接続します。



DJミキサーのルーティング設定

1. DJM-900NXS2の入力設定

コンピュータで再生される音声をDJM-900NXS2に入力します。

DJM-900NXS2のCH2, CH3の入力切替スイッチをUSB Aに設定します。

2. DJM-900NXS2の出力設定

DJプレーヤーで再生されるタイムコードをコンピュータへ出力します。

2. 1 DJM-900NXS2のドライバーソフトウェアをコンピュータにインストールします。

DJM-900NXS2専用のドライバーソフトウェアと設定ユーティリティソフトウェアをインストールします。インストールの方法は、取扱説明書の「ドライバーソフトウェアをインストールする。」を参照してください。

2. 2 設定ユーティリティを起動します。

Windows :

[スタート]メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [DJM-900NXS2] > [DJM-900NXS2 設定ユーティリティ]をクリックする。

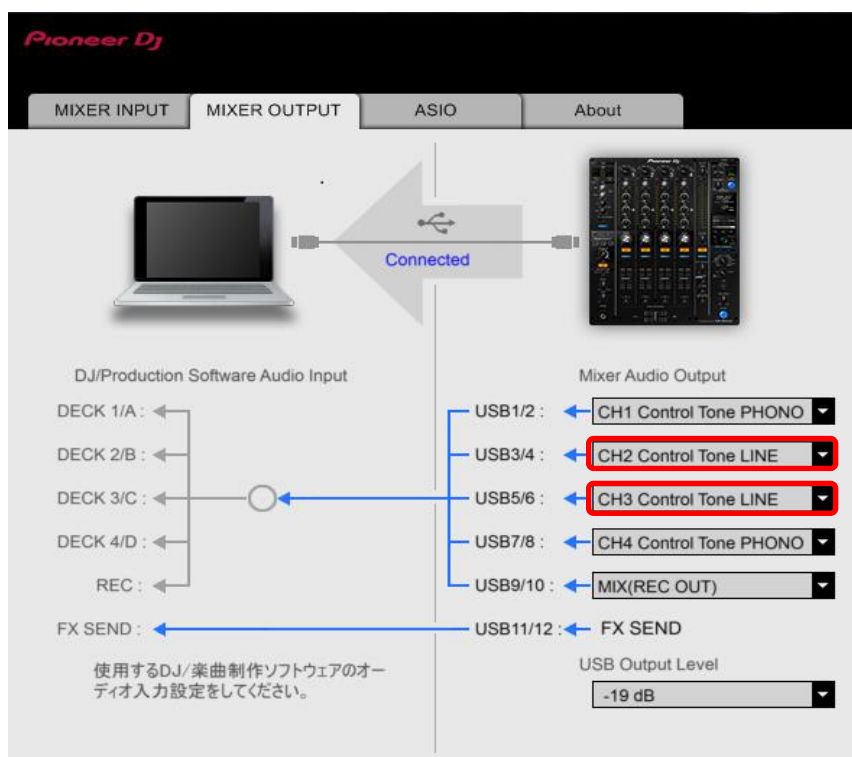
Mac :

[Macintosh HD]アイコン > [Application] > [Pioneer] > [DJM-900NXS2] > [DJM-900NXS2 設定ユーティリティ]をクリックする。

※DJミキサーの設定によっては、コンピュータに接続すると自動的に設定ユーティリティが起動します。

2. 3 DJM-900NXS2からコンピュータへ出力する音声を選択します。

MIXER OUTPUTタブを選択し、[Mixer Audio Output]のCH2(USB3/4)を[CH2 Control Tone LINE], CH3(USB5/6)を[CH3 Control Tone LINE]に設定します。



- DJミキサーのチャンネルと、USBのチャンネルは次のように対応しています。

CH1 : USB1/2

CH2 : USB3/4

CH3 : USB5/6

CH4 : USB7/8

- [Mixer Audio Output]のControl Toneと、ミキサーの端子は次のように対応しています。

Control Tone PHONO : PHONO端子

Control Tone LINE : LINE端子

Control Tone DIGITAL : DIGITAL IN端子

[Mixer Audio Output]の詳細は、DJミキサーの取扱説明書の[Mixer Audio Output]のプルダウンメニュー一覧をご確認ください。

「TRAKTOR」シリーズの設定

1. 「TRAKTOR」シリーズのセットアップウィザード

「TRAKTOR」シリーズを起動し、アプリケーションメニューバーの[Help]メニューで[Start Setup Wizard]を選択します。

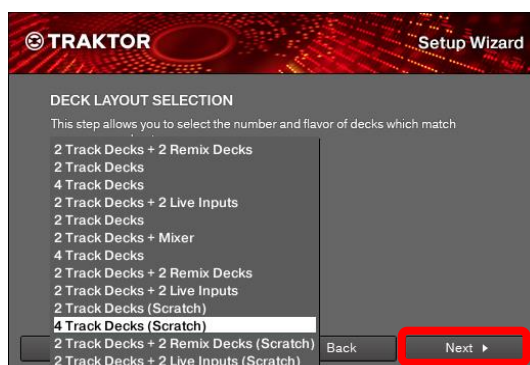
- ① SETUP WIZARD画面が表示されます。右下の[Next]をクリックします。



- ② HARDWARE CONTROLLER SETUP画面が表示されます。ここでは一旦、プルダウンメニューの中から[No]を選択し、[Next] をクリックします。



- ③ DECK LAYOUT SELECTION画面が表示されます。プルダウンメニューの中から(Scratch)と表記されているものを選択し、[Next]をクリックします。



- ④ [Finish]をクリックし、SETUP WIZARDを終了します。



2. ルーティングの設定

下図のPreferenceボタンをクリックして、Audio Setupを選択します。



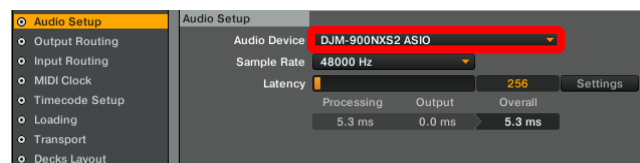
- ① Audio Deviceで[DJM-900NXS2]を選択します。

ご使用のOSにより表記が異なります。

Windows:[DJM-900NXS2 ASIO]

Mac:[DJM-900NXS2]

Sampling RateとLatencyは適宜設定してください。



- ② [Output Routing]をクリックし、[Mixing Mode]で[External]が選択されていることを確認します。

各Deckの音声を出力するチャンネルを選択します。

Output DeckA

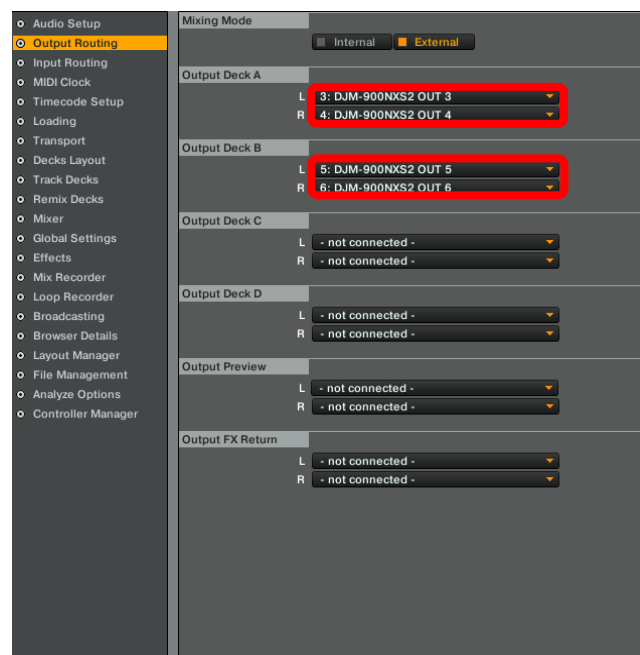
L: [DJM-900NXS2 OUT 3]

R: [DJM-900NXS2 OUT 4]

Output DeckB

L: [DJM-900NXS2 OUT 5]

R: [DJM-900NXS2 OUT 6]



- ③ [Input Routing]をクリックし、各Deckに入力するチャンネルを選択します。

Input DeckA

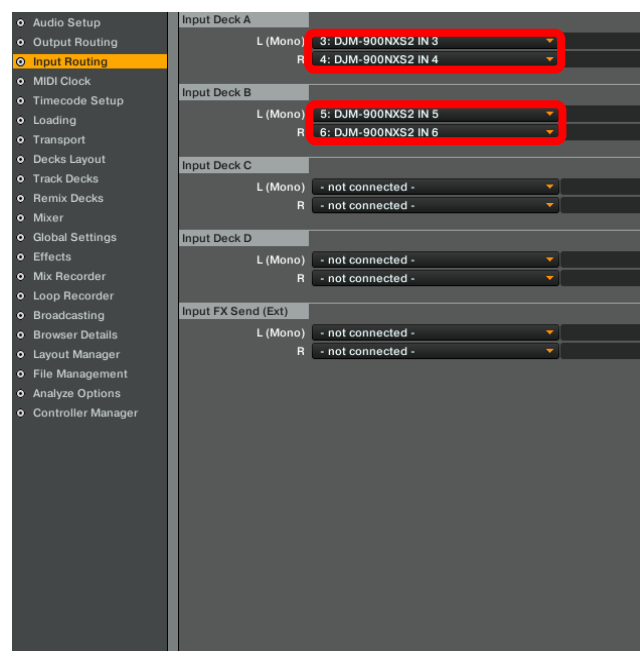
L: [DJM-900NXS2 IN 3]

R: [DJM-900NXS2 IN 4]

Input DeckB

L: [DJM-900NXS2 IN 5]

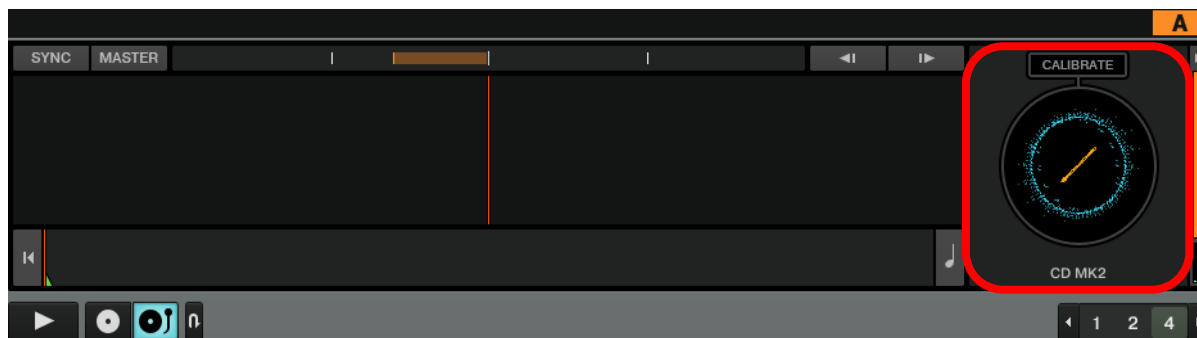
R: [DJM-900NXS2 IN 6]



以上で、DJM-900NXS2および「TRAKTOR」シリーズの設定は終了です。

タイムコード信号の確認

DJプレーヤーでタイムコードディスクを再生し、対応するDeckのScope画面で、タイムコード信号を正常に認識していることを確認します。



以上で、準備は終了です。

- Pioneer DJは、パイオニア株式会社の商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- 「TRAKTOR」は、Native Instruments 社の登録商標です。
- Windowsは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、Mac OS、およびOS Xは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- ASIOはSteinberg Media Technologies GmbHの商標です。
- その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

© 2019 Pioneer DJ 株式会社 禁無断転載